

令和7年度 福井県立高等学校 入 学 者 選 抜 実 施 要 項

(全日制の課程および定時制の課程)

令和7年度の福井県立高等学校（以下「県立高校」という。）の全日制の課程および定時制の課程の入学者の選抜は、この要項の定めるところにより実施する。

第1 一般入学者選抜

1 募 集

(1) 募集人員

募集人員は、募集定員から推薦入学者選抜、特色選抜、外国人生徒等特別選抜および連携型中高一貫教育校入学者選抜の合格者数を減じた数とする。

(2) 応募資格

県立高校に入学を志願できる者は、次のいずれかに該当する者とする。

ア 令和7年3月に中学校またはこれに準ずる学校（以下「中学校」という。）を卒業する見込みの者

イ 中学校を卒業した者

ウ 学校教育法施行規則第95条の規定により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

2 受験に関する事前説明（定時制の課程のみ）

(1) 志願する者および保護者（やむを得ず保護者が来校することができない場合は、志願する者および中学校の担当者）は、志願先の高校において、入学後の学校生活等について、事前に説明を受けること。ただし、志願者が成人の場合、父母等の同伴は不要とする。なお、事前説明は、複数の高校で受けることができるものとする。

(2) 事前説明期間は、令和6年11月8日（金）から令和7年1月20日（月）までの間（志願変更で出願する者は令和7年2月13日（木）から2月14日（金）までの間）とする。事前説明に当たっては、前もって当該校に連絡して来校日を決定し、受験に関する事前説明申請書（定時制の課程）（様式定第1号）に必要事項を記入し、志願先の高校に持参すること。

(3) 志願先の県立高校の校長（以下「県立高校長」という。）は、志願者が持参する受験に関する事前説明申請書（定時制の課程）を受理し、応募資格を確認の上、入学後の学校生活等について説明し、受験に関する事前説明実施証明書（定時制の課程）を発行する。

(4) やむを得ない事情により、(2)の期間内に、志願先の高校において事前説明を受けられない者がいる場合は、卒業した中学校または現に在学する中学校の校長（以下「中学校長」という。）は、出願時に受験に関する事前説明免除申請書（定時制の課程）（様式定第2号）を提出すること。

3 出 願

(1) 出願できる学校および学科

ア 志願者は、県の内外を問わず、複数の公立高等学校に出願することはできない。（特別支援学校の高等部を含む。）

イ 県立高校への出願は、1人1校1課程1学科に限る。ただし、コース、専攻を設置する学科においては、それぞれのコース（専攻を設置するものは除く。）、専攻を1学科とみなす。

なお、高志高等学校理数創造科および人文創造科は、探究創造科として、武生高等学校探究理科および探究文科は、探究進学科として、武生東高等学校フューチャーサイエンス科とフューチャークエスト科およびグローバル科は、学際フロンティア学科として、敦賀高等学校理数進学科および人文進学科は、文理進学科として、若狭高等学校理数探究科および国際探究科は、文理探究科として、募集する。

ウ イにかかわらず、次の表の左欄に掲げる学科・コース・専攻を志願する者は、同表の右欄に掲げる学科・コース・専攻に限り、第2志望まで出願することができる。

第1志望として出願する学科・コース・専攻		第2志望として出願することができる学科・コース・専攻	
農業、工業、商業および家庭に関する大学科内の学科・コース		同一校・同一大学科内の学科・コース	
羽水高校	探究特進科	羽水高校	普通科
丸岡高校	みらい共創コース スポーツ探究コース	丸岡高校	みらい共創コース スポーツ探究コース
勝山高校	探究特進科	勝山高校	普通科
鯖江高校	健康福祉専攻 I T専攻、デザイン専攻	鯖江高校	スタンダードコース 健康福祉専攻 I T専攻、デザイン専攻
鯖江高校	探究科	鯖江高校	スタンダードコース
武生高校	探究進学科	武生高校	普通科
敦賀高校	文理進学科	敦賀高校	普通科
若狭高校	文理探究科	若狭高校	普通科

(2) 出願期間

ア 出願の受付期間は、令和7年2月7日（金）、2月10日（月）および2月12日（水）とする。

イ 受付時間は、午前9時から午後4時までとする。ただし、受付最終日は、午前9時から正午までとする。

(3) 出願手続

ア 志願者の行う手続

(ア) 志願者は、福井県立高等学校統合型WEB出願システム（以下「WEB出願システム」という。）により、出願に必要な情報（以下「志願情報」という。）を入力し、中学校長の証明を得ること。なお、定時制の課程に出願する場合は、受験に関する事前説明実施証明書（様式定第1号）または受験に関する事前説明免除申請書（様式定第2号）をWEB出願システムにより、出願先の県立高校長に提出すること。ただし、中学校を卒業した者、学校教育法施行規則第95条の規定により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者については、直接出願先の県立高校長に提出することができる。

(イ) 志願者は、入学審査料として、2,200円をクレジットカードによるオンライン決済、コンビニエンスストア支払いのいずれかで払込むこと。なお、志願者の事情により受験しなかった場合、納入された入学審査料の返還は行わない。

(ウ) 他の都道府県から県立高校の全日制の課程への入学を志願する者は、令和6年11月20日（水）から令和7年1月30日（木）までに、「県を越えて出願する場合の取扱い」の例により手続し

なければならない。なお、特色選抜の種目・領域「地域みらい留学」の選抜に漏れた者が、一般入学者選抜を受験する場合には、令和7年1月21日（火）から令和7年1月30日（木）までに、「県を越えて出願する場合の取扱い」の例により手続すること。

イ 中学校長の行う手続

- (ア) 中学校長は、志願者の志願情報に誤りのないことおよび入学審査料が払込まれていることを確認し、WEB出願システムにより、志願情報等の証明を行う。
- (イ) 学力検査等の実施において、障がいや病気の状況等により受験上の配慮を必要とする志願者については、受験上の配慮申請書（様式第7号）を県立高校長に提出する。

ウ 県立高校長の処理

- (ア) 県立高校長は、志願情報等の提出を受けた場合において、記載事項について適正であると認めたときは、これを受理する。
- (イ) 受験上の配慮申請書の提出を受けた県立高校長は、障がいや病気の状況等により受験上の配慮を必要とする場合、教育委員会と協議の上、対応について検討する。

(4) 出願の特例

他の都道府県から県立高校全日制の課程を志願する者のうち、転勤による県外からの一家転住等のやむを得ない事情により、(2)アの期間内に出席できなかった者は、志願変更の期間内に出席することができる。ただし、令和7年2月13日（木）午前9時から午後4時までに、「県を越えて出願する場合の取扱い」の例により手続しなければならない。

(5) 出願者数の発表

- ア 教育委員会は、出願の受付期間中の毎日およびその終了後、各県立高校の課程・学科別の出願者数を発表する。なお、県立高校長は、電話等による出願者数の照会には、応じないものとする。
- イ 教育委員会は、第2志望制度のある県立高校においては、出願の受付期間の最終日を除く毎日、第1志望のみの出願者数を、最終日は第1志望および第2志望の出願者数を発表する。

4 志願の変更

(1) 出願した県立高校、課程または学科の変更

- ア 出願した県立高校、課程または学科は、志願情報の提出後1回に限り、WEB出願システムにより変更することができる。
- イ 志願変更により志願情報等の取下げをした県立高校の同一課程に再出願するときは、志願する学科を変更しなければならない。第2志望について変更がある場合も、同様に志願情報等を取下げ、再出願しなければならない。

(2) 志願変更期間

- ア 志願変更の受付期間は、令和7年2月14日（金）、2月17日（月）および2月18日（火）とする。
- イ 受付時間は、午前9時から午後4時までとする。ただし、受付最終日は、午前9時から正午までとする。

(3) 変更のための手続

ア 志願変更希望者の行う手続

志願変更を希望する者（以下「志願変更希望者」という。）は、中学校長にその旨を申し出て、WEB出願システムにより、新たに出願する県立高校、課程および学科等の志願情報を入力し、中学校長の証明を得て、新たな出願先の県立高校長に提出するものとする。

イ 中学校長の行う手続

志願変更の申出を受けた中学校長は、正当と認めた場合には、WEB出願システムにより、新たな志願情報の記載情報に誤りのないことを確認し、証明を行うものとする。

ウ 県立高校長の処理

（ア）WEB出願システムにより、志願者から志願情報の取下げがあった県立高校長は、志願情報の取下げおよび志願変更を承諾するものとする。

（イ）志願変更希望者から、WEB出願システムにより、志願情報の提出を受けた県立高校長は、適正であると認めた場合には、これを受理する。

(4) 志願変更後の出願者数の発表

ア 教育委員会は、志願変更の期間中の毎日およびその終了後、各県立高校の課程・学科別の出願者数を発表する。なお、県立高校長は、電話等による出願者数の照会には、応じないものとする。

イ 教育委員会は、第2志望制度のある県立高校においては、第1志望および第2志望の出願者数を発表する。

5 調査書

(1) 調査書の作成

ア 中学校長は、各志願者について、福井県立高等学校入学志願者調査書（様式第1号）により調査書を作成すること。この場合において、生徒指導要録、健康診断票その他必要な資料に基づいて、厳正かつ公正に作成しなければならない。

イ 定時制の課程に入学を志願する者で、高等学校での修得単位があるものは、当該高等学校長の発行する単位修得および成績証明書（様式定通第1-1号、様式定通第1-2号または様式定通第1-3号）をもって調査書に代えることができる。

(2) 調査書の提出

中学校長は、出願時に、調査書をWEB出願システムにより添付し、出願先の県立高校長に提出すること。

6 受験票の交付

(1) 県立高校長は、志願変更による志願情報等の受付を締め切った後、令和7年2月18日（火）の午後5時までに、全出願者について受験番号を付して、WEB出願システムにより受験票を交付する。

(2) 志願者は、交付された受験票を印刷する。

7 学力検査等

(1) 学力検査等の実施

ア 県立高校入学者の選抜の資料とするため、学力検査等を実施する。

イ 県立高校に入学を志願した者は、推薦入学者選抜、特色選抜、外国人生徒等特別選抜および連携型中高一貫教育校入学者選抜による合格者を除き、全員、学力検査等を受けるものとする。

ウ 学力検査等は、令和7年2月20日（木）および2月21日（金）の両日に実施する。

エ 学力検査等は、全日制の課程については国語・英語・数学・社会・理科の5教科の学力検査等とし、定時制の課程については国語・英語・数学の3教科の学力検査および面接等とする。

なお、英語および数学は大問4～6問のうち1～2問を2種類の選択問題とし、各学校・学科の特色に合わせて、各高校が教育委員会と協議の上、選択する。

オ 帰国子女および外国人子女については、外国での継続在住年数2年以上で、学力検査第1日目からさかのぼって、帰国後または入国後2年以内の者に限り、本人の申出により、学力検査等を国語・英語・数学の3教科の学力検査および面接とすることができる。申出は、2月18日（火）の午後5時までとする。

カ 学力検査等の実施については、令和7年度福井県立高等学校入学者選抜のための学力検査等実施要項（以下「学力検査等実施要項」という。）による。

(2) 一般入学者選抜学力検査追検査等の実施

ア インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、月経随伴症状等やむを得ない理由により学力検査等を欠席した受験生に対して、一般入学者選抜学力検査追検査（以下「追検査」という。）等を実施する。

イ 県立高校に入学を希望した者が、上記アの理由で学力検査等の両日またはどちらか1日を欠席した場合、当該日の追検査等を受験することができる。

ウ 追検査等は、令和7年2月26日（水）および2月27日（木）の両日に実施する。

エ 追検査等の受験を希望する者は、令和7年2月21日（金）正午までに中学校長を通じて出願先の県立高校長にその旨を電話で申し出る。中学校長は2月21日（金）午後4時までに一般入学者選抜学力検査追検査受験願書（様式第8号）と、追検査等受験の理由を証明する書類（医師の診断書または警察、役所・役場その他の証明書等）および受験票の写しを添えて、出願先の県立高校長に提出する。既に中学校を卒業した志願者および県外からの志願者については、原則として父母等が手続きを行う。

オ 追検査の受験許可の単位は、原則として、2日分または1日分の教科とする。

カ 追検査等の実施については、学力検査等実施要項による。

(3) 学力検査等および追検査等の会場

学力検査等および追検査等は、出願した県立高校において行う。

8 選抜の方法

(1) 入学者の選抜

ア 県立高校長は、中学校長から提出された調査書その他必要な書類、学力検査（追検査を含む。）の成績等を資料として、各高等学校、各学科等の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を判定した上で、入学者を選抜する。

イ 選抜に当たっては、調査書中の「学習の記録」の「評定」の第3学年の各教科の評定と学力検査（追検査を含む。）の成績を総合的に審査する。

なお、調査書中の「観点別学習状況」および他の記録についても、これを慎重に審査する。ただし、「身体上の特記事項」については、修学不可能と認められるものを除くほかは、等差をつける資料としない。

ウ 選抜に当たっては、志願変更の有無、第2志望等の理由により等差をつけることはしない。

エ 面接等

（ア）全日制の課程における面接を実施する学校および学科は、次のとおりとする。

学校名	学科名	
足 羽	普通	キャリアデザインコース
	多文化共生	中国語・英語コース
		日本語コース
丹 生	普 通	
美 方	生活情報	
	食 物	

学校名	学科名	
福井農林	生物生産	
	環境工学	
	生活科学	
	食品流通	
科学技術	機械システム	
	情報工学	
	電子電気	
	化学創造	
	産業デザイン	
敦賀工業	電子機械	
	電 気	
	建築システム	
	情報ケミカル	

学校名	学科名	
坂 井	食農科学	農業コース
		食品コース
	機械・自動車	機械コース
		自動車コース
	電気・情報システム	電気コース
		情報システムコース
奥越明成	ビジネス・生活デザイン	ビジネスコース
		生活デザインコース
	機 械	
	電 気	
	ビジネス情報	
	生活福祉	生活コース
		福祉コース

学校名	学科名	
武生商工	機械創造	
	電気情報	
	都市・建築	
	商業マネジメント	
若 狭 東	情報ビジネス	
	生活創造	
	地域創造	
	工業創造	
	ビジネス情報	

学校名	学科	面接	備考（面：面接時間等）
足羽	普通	個人	面：1人あたり5分程度
	多文化共生 中国語・英語コース	個人	面：1人あたり5分程度
	多文化共生 日本語コース	個人	面：1人あたり8分程度
丹生	普通	集団	面：15分程度／1グループ（4～5名）
美方	生活情報 食物	個人	面：1人あたり5分程度
福井農林	全	集団	面：15分程度／1グループ（4～5名）
科学技術	全	集団	面：15分程度／1グループ（5名程度）
敦賀工業	全	集団	面：20分程度／1グループ（4～5名程度）
坂井	全	集団	面：15分程度／1グループ（3～4名程度）
奥越明成	全	集団	面：15分程度／1グループ（3～4名）
武生商工	全	集団	面：15分程度／1グループ（3～4名）
若狭東	全	集団	面：15分程度／1グループ（3～5名程度）

(イ) 定時制の課程については、すべての学校・学科で面接を実施する。なお、丸岡高校定時制、大野高校定時制、鯖江高校定時制、武生高校定時制、敦賀高校定時制および若狭高校定時制においては、作文も実施する。

学校名	学科	面接	作文	備考（面：面接時間等）
丸岡定時制	普通	個人	400字程度	面：1人あたり10分程度の個人面接を2回実施
大野定時制	普通	個人	2題出題、各200字程度	面：1人あたり10分程度の個人面接を2回実施
鯖江定時制	普通	個人	400字程度	面：1人あたり10分程度の個人面接を2回実施
武生定時制	普通	集団	600字程度	面：20分程度／1グループ（3～5名程度）
敦賀定時制	普通	個人	600字程度	面：1人あたり10分程度の個人面接を2回実施
若狭定時制	普通	個人	600字程度	面：1人あたり15分程度
道守定時制	普通	個人		面：1人あたり15分程度

(ウ) 面接等を実施する県立高校長は、具体的な実施方法、主な設問等を付した実施計画書を教育委員会に届け出るものとする。

(エ) 面接においては、細部にわたる教科の内容や家庭環境等について触れてはならない。

オ 選抜に必要なその他の調書等を必要とする県立高校長は、教育委員会の承認を受けなければならない。

カ 県立高校長は、調査書その他必要な書類、学力検査（追検査を含む。）の成績等による判定の結果、入学が適当と認められる者の数が募集人員に満たない場合には、教育委員会と協議の上、合格者数を募集人員内にとどめることができる。

キ 県立高校長は、募集人員を超えて合格者を決定する場合には、教育委員会と協議しなければならない。

(2) 合格者の発表

県立高校長は、令和7年3月3日（月）午後2時以降に、合格者の受験番号をWEB出願システム上に掲載し、中学校長を通じ本人に通知するものとする。また、WEB出願システムの合格者発表ページへのリンクを各高校のホームページに掲載する。

第2 推薦入学者選抜（全日制）

1 募 集

(1) 実施校・実施学科・募集人員

実施校・実施学科・募集人員は、次のとおりとする。

学校名	学科名			募集人員
足 羽	多文化共生	中国語・英語コース		12
丸 岡	普通	みらい共創コース		20
		スポーツ探究コース		5
勝 山	探究特進			9
鯖 江	普通	スポーツ・健康福祉コース	スポーツ専攻	22
			健康福祉専攻	4
		I T・デザインコース	I T専攻	7
			デザイン専攻	7
	探 究			11
武生東	学際フロンティア			28
敦 賀	商 業			7
	情報経理			7
美 方	生活情報			16
	食 物			16
若 狭	海洋科学			12
福井農林	生物生産			12
	環境工学			12
	生活科学			12
	食品流通			12
科学技術	機械システム			14
	情報工学			14
	電子電気			14
	化学創造			14
	産業デザイン			16
敦賀工業	電子機械			8
	電 気			8
	建築システム			8
	情報ケミカル			8

学校名	学科名		募集人員
福井商業	商 業		23
	流通経済		23
	会 計		12
	情報処理		23
	国際経済		12
坂 井	食農科学	農業コース	12
		食品コース	12
	機械・自動車	機械コース	12
		自動車コース	12
	電気・情報システム	電気コース	12
		情報システムコース	12
	ビジネス・生活デザイン	ビジネスコース	14
		生活デザインコース	14
奥越明成	機 械		11
	電 気		11
	ビジネス情報		11
	生活福祉	生活コース	12
		福祉コース	10
武生商工	機械創造		20
	電気情報		11
	都市・建築		11
	商業マネジメント		26
若 狭 東	情報ビジネス		13
	生活創造		6
	地域創造		6
	工業創造		12
	ビジネス情報		11

(2) 応募資格

推薦入学を志願できる者は、次のいずれにも該当し、かつ、中学校長の推薦を得た者とする。

- ア 令和7年3月に中学校を卒業する見込みの者であること。
- イ 志願する学科を志望する動機・理由が明白かつ適切であること。
- ウ 志願する学科に対する適性、興味・関心を有すること。
- エ 人物が優れていること。
- オ 調査書の各記録が優良であること。

2 出 願

(1) 出願できる学校および学科

出願は、推薦入学の対象となる学科を有する県立高校の対象学科のうち1学科に限る。ただし、コース、専攻を設置する学科においては、それぞれのコース（専攻を設置するものは除く。）、専攻を1学科とみなす。なお、特色選抜および外国人生徒等特別選抜との併願は認めない。

(2) 出願期間

ア 出願の受付期間は、令和7年1月7日（火）から1月9日（木）とする。

イ 受付時間は、午前9時から午後4時までとする。

(3) 出願手続

ア 志願者の行う手続

（ア）推薦入学者選抜志願者は、WEB出願システムにより、志願情報を入力し、中学校長の証明を得ること。また、入学審査料として、2,200円をクレジットカードによるオンライン決済、コンビニエンスストア支払いのいずれかで払込むこと。なお、志願者の事情により受験しなかった場合、納入された入学審査料の返還は行わない。

（イ）他の都道府県から志願する者は、令和6年11月20日（水）から令和6年12月24日（火）までに、「県を越えて出願する場合の取扱い」の例により手続しなければならない。

イ 中学校長の行う手続

中学校長は、WEB出願システムにより、推薦入学志願者の志願情報に誤りがないことおよび入学審査料が払込まれていることを確認した上で証明し、志願情報および次の書類を、出願先の県立高校長に提出する。

（ア）福井県立高等学校入学志願者調査書（様式第1号）

（イ）推薦書（様式第2号）

また、障がいや病気の状況等により受験上の配慮を必要とする志願者については、受験上の配慮申請書（様式第7号）を県立高校長に提出する。

(4) 被推薦者の決定

中学校長は、1(2)の応募資格について十分配慮し、厳正かつ公平を期して被推薦者を決定するものとする。

(5) 県立高校長の処理

ア 県立高校長は、志願情報および推薦入学に係る書類の提出を受けた場合において、記載事項等について適正であると認めたときは、これを受理する。

イ 県立高校長は、令和7年1月10日（金）午後5時までに、全出願者について受験番号を付して、WEB出願システムにより、推薦・連携型中高一貫教育校入学受験票を交付する。

ウ 受験上の配慮申請書の提出を受けた県立高校長は、障がいや病気の状況等により受験上の配慮を必要とする場合、教育委員会と協議の上、対応について検討する。

3 出願者数の発表

教育委員会は、出願の受付期間中の毎日およびその終了後、各県立高校の課程・学科別の出願者数を発表する。なお、県立高校長は、電話等による出願者数の照会には、応じないものとする。

4 面接等の実施

- (1) 推薦入学者の選抜は、調査書および面接により実施し、必要に応じ、作文、実技試験を取り入れることができる。
- (2) 面接、作文、実技試験は、出願先の県立高校において、令和7年1月15日（水）に行う。
- (3) 面接、作文、実技試験を実施する学校および学科は、次のとおりとする。

学校名	学科名	面接	面接時間／人	作文	実技試験	備考（準：実技試験の準備物）
足羽	多文化共生 (中国語・英語)	個人	8分程度	400字以内		
丸岡	普通	個人	10分程度	400字程度		
勝山	探究特進	個人	15分程度	600字以内		
鯖江	普通 (スポーツ専攻)	個人	10分程度		種目別実技試験 (体操、陸上競技[駅伝])	準：シューズ（内） 実技試験のできる服装
	普通 (健康福祉、IT、デザイン専攻)	個人	10分程度	600字以内	デザイン専攻…適性検査あり	準：デザイン専攻…鉛筆、消しゴム
	探究	個人	10分程度	600字以内		
武生東	学際フロンティア	個人	6分程度	800字程度		
敦賀	商業 情報経理	個人	6分程度	600字程度		
美方	生活情報 食物	個人	10分程度	400字～600字程度		
若狹	海洋科学	個人	10分程度	800字程度（設問形式）		
福井農林	全	個人	10分程度	400字程度		
科学技術	全	個人	8分程度	400字程度	産業デザイン科：鉛筆デッサン	準：筆記用具
敦賀工業	全	個人	8分程度	400字程度		
福井商業	全	個人	10分程度	600字程度		
坂井	全	個人	10分程度	400字程度		
奥越明成	全	個人	10分程度	400字程度		
武生商工	全	個人	10分程度	400字程度		
若狹東	全	個人	10分程度	400字程度		

5 入学者の選抜

- (1) 県立高校長は、中学校長から提出された調査書その他必要な書類、面接等の結果を資料として、各高等学校、各学科等の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を判定した上で、入学者を選抜する。
- (2) 選抜に当たっては、調査書中の「学習の記録」の「評定」の第3学年の各教科の評定と面接等の結果を総合的に審査する。
なお、調査書中の「観点別学習状況」および他の記録についても、これを慎重に審査する。ただし、「身体上の特記事項」については、修学不可能と認められるものを除くほかは、等差をつける資料としない。
- (3) 県立高校長は、具体的な実施方法、主な設問等を記入した推薦入学選抜実施計画書を、教育委員会に届け出るものとする。
- (4) 面接においては、細部にわたる教科の内容や家庭環境等について触れてはならない。
- (5) 県立高校長は、選抜の結果、教育委員会と協議して、募集人員を超えて合格させること、または募集人員内にとどめることができる。

6 合格者への通知

県立高校長は、令和7年1月20日（月）午後2時以降に、合格した旨を中学校長を通じ、本人に通知するものとする。ただし、合格者の発表は、令和7年3月3日（月）午後2時以降にWEB出願システム上に受験番号を掲載する。また、WEB出願システムの合格者発表ページへのリンクを各高校のホームページに掲載する。

7 選抜に漏れた者の取扱い

選抜に漏れた者が一般入学選抜を受験する場合には、改めて出願し直すこと。

第3 特色選抜

1 募 集

(1) 実施校、実施学科、実施種目・領域、募集人員

実施校、実施学科、実施種目・領域、募集人員は、次のとおりとする。

学校名	学科名		実施種目・領域および募集人員		備考
足 羽	普通	キャリアデザインコース	バスケットボール（男女）〔13〕 バドミントン（男女）〔4〕 硬式野球（男）〔5〕 美術（男女）〔2〕	ライフル射撃（男女）〔2〕 陸上競技（男女）〔5〕 ボクシング（男女）〔3〕	
羽 水	普 通		ボクシング（男女）〔4〕 なぎなた（女）〔2〕 吹奏楽（男女）〔4〕	ハンドボール（男）〔4〕 バレーボール（男）〔2〕 生徒会・ボランティア活動等（男女）〔3〕	
	探究特進		探究（男女）〔7〕		
金 津	普 通		カヌー（男女）〔3〕 硬式野球（男）〔5〕 吹奏楽（男女）〔5〕	ソフトテニス（男）〔5〕 サッカー（男）〔3〕 理数探究（男女）〔3〕	
高 志	探究創造		探究（男女）〔4〕		
丸 岡	普 通	みらい共創コース	地域貢献・国際交流（男女）〔4〕		14人以内
		スポーツ探究コース	サッカー（男）〔11〕 新体操（女）〔3〕 剣道（男女）〔7〕 地域みらい留学（男女）〔5〕		20人以内
三 国	普 通		セーリング（男女）〔3〕 硬式野球（男）〔4〕 吹奏楽（男女）〔7〕	ソフトボール（女）〔8〕 陸上競技（男女）〔3〕 地域探究（男女）〔3〕	
大 野	普 通		スキー〔アルペン〕（男女）〔2〕 卓球（男女）〔3〕 サッカー（男）〔3〕 科学探究（人文・社会・自然）（男女）〔5〕 生徒会活動・ボランティア等社会活動（男女）〔3〕	バレーボール（男）〔3〕 硬式野球（男）〔4〕	
勝 山	普 通		バドミントン（男女）〔8〕 日本文化（男女）〔3〕	スキー〔クロスカントリー〕（男女）〔2〕	
	普 通		ジオサイエンス（男女）〔3〕		3人以内
	探究特進				3人以内
鯖 江	普 通	スタンダードコース	生徒会活動・ボランティア等社会活動（男女）〔2〕		25人以内
		スポーツ・健康福祉コース	なぎなた（女）〔3〕 バレーボール（男）〔4〕 硬式野球（男）〔4〕	陸上競技〔駅伝を除く〕（男女）〔5〕 アーチェリー（男女）〔2〕 吹奏楽（男女）〔5〕	4人以内
		IT・デザインコース	※スポーツ専攻は特色選抜による募集をしない。		4人以内
		IT・デザインコース	IT専攻 情報（男女）〔2〕		4人以内
武 生	探究進学		探究（男女）〔10〕		
武生東	学際フロンティア		地域探究（男女）〔3〕 理数探究（男女）〔3〕 国際探究（男女）〔3〕		
丹 生	普 通		ホッケー（男女）〔16〕 硬式野球（男）〔5〕		
敦 賀	普 通		陸上競技（男女）〔8〕 ソフトテニス（男）〔2〕 柔道（男女）〔3〕 吹奏楽（男女）〔3〕	剣道（男女）〔6〕 卓球（男女）〔4〕 硬式野球（男）〔4〕	30人以内
	商 業				5人以内
	情報経理				5人以内
	商 業		ビジネス・IT探究（男女）〔15〕		10人以内
	情報経理				10人以内
	文理進学		探究（男女）〔15〕		15人以内
美 方	普 通		ボート（男女）〔10〕 陸上競技〔駅伝〕（男女）〔8〕 吹奏楽（男女）〔2〕	剣道（男女）〔6〕 硬式野球（男）〔4〕 地域探究（男女）〔2〕	
若 狭	普 通		ボート（男女）〔5〕 地域みらい留学（男女）〔2〕	硬式野球（男）〔5〕	
	文理探究		探究（男女）〔28〕 地域みらい留学（男女）〔2〕		
	海洋科学		地域みらい留学（男女）〔2〕		

学校名	学科名	実施種目・領域および募集人員	備考
福井農林	生物生産	レスリング（男）〔3〕 相撲（男）〔3〕	各学科6人以内
	環境工学	バレーボール（男）〔3〕 硬式野球（男）〔4〕	
	生活科学	郷土芸能（男女）〔3〕	
	食品流通		
科学技術	機械システム	自転車（男女）〔4〕 ライフル射撃（男女）〔2〕	各学科12人以内
	情報工学	新体操（男）〔3〕 硬式野球（男）〔3〕	
	電子電気	サッカー（男）〔3〕	
	化学創造	創造ものづくり（男女）〔2〕	
	産業デザイン		
敦賀工業	電子機械		各学科15人以内
	電 気	ボート（男女）〔4〕 硬式野球（男）〔5〕	
	建築システム	吹奏楽（男女）〔2〕 ものづくり（男女）〔12〕	
	情報ケミカル		
福井商業	商 業	ハンドボール（女）〔4〕 卓球（男女）〔6〕	13人以内
	流通経済	バレーボール（女）〔4〕 バスケットボール（男女）〔5〕	15人以内
	会 計	ソフトテニス（女）〔4〕 ソフトボール（女）〔6〕	7人以内
	情報処理	サッカー（男）〔6〕 硬式野球（男）〔5〕	15人以内
	国際経済	吹奏楽（男女）〔3〕	4人以内
坂 井	食農科学	農業コース	各学科8人以内
		食品コース	
	機械・自動車	機械コース	
		自動車コース	
	電気・情報システム	電気コース	
		情報システムコース	
奥越明成	ビジネス・生活デザイン	ビジネスコース	各学科5人以内
		生活デザインコース	
	機 械		
	電 気		
	ビジネス情報	硬式野球（男）〔3〕 ビジネス地域貢献（男女）〔2〕	
武生商工	生活福祉		16人以内
	福祉コース		
	機械創造	ボクシング（男女）〔3〕 フェンシング（男女）〔4〕	
	電気情報	硬式野球（男）〔5〕 バレーボール（男女）〔4〕	
	都市・建築	バドミントン（女）〔3〕 サッカー（男）〔2〕	
若 狭 東	商業マネジメント	バスケットボール（女）〔2〕 テニス（男女）〔4〕 吹奏楽（男女）〔8〕	8人以内
	情報ビジネス	エンジニアスキル（男女）〔2〕 ビジネススキル（男女）〔3〕	16人以内
	生活創造		8人以内
	地域創造		10人以内
若 狭 東	工業創造	ボート（男女）〔8〕 ウエイトリフティング（男女）〔3〕	10人以内
	ビジネス情報	ラグビーフットボール（男）〔5〕 レスリング（男）〔4〕	17人以内
			17人以内
			17人以内

(2) 応募資格

特色選抜を志願できる者は、次のア～ウのいずれにも該当する者とする。ただし、アについて、領域「地域みらい留学」に志願できる者は、「第1 一般入学者選抜」の「(2) 応募資格」の例による。

ア 次の（ア）～（ウ）のいずれかに該当する者

（ア） 令和7年3月に中学校を卒業する見込みの者であること。

（イ） 外国において、学校教育における9年の課程を、令和6年4月から令和7年3月の間に修了した者または修了する見込みの者であること。

（ウ） 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を、令和6年4月から令和7年3月の間に修了した者または修了する見込みの者であること。

イ 各校の特色を理解し、志願理由が明白かつ適切であること。

ウ 各実施校における次の資格要件を満たすこと。

学校名	種目・領域	男女	資 格 要 件
足羽	バスケットボール	男女	本校で学業との両立に励み、部活動、学校生活等でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者 ① 県大会ベスト8以上の実績を有する者 ② 県選抜・地区選抜選手に選ばれた実績を有する者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	ライフル射撃	男女	本校で学業との両立に励み、部活動、学校生活等でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者 ① 本校またはライフル射撃協会主催の体験会に参加し、本校ライフル射撃部で全国大会上位入賞を目指し3年間取り組む意志を有する者 ② バランス感覚に自信があり、本校ライフル射撃部で全国大会上位入賞を目指し3年間取り組む意志を有する者
	バドミントン	男女	本校で学業との両立に励み、部活動、学校生活等でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者 ① 団体または個人で、県大会ベスト8以上の実績を有する者 ② 県選抜・地区選抜選手に選ばれた実績を有する者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	陸上競技	男女	本校で学業との両立に励み、部活動、学校生活等でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者 ① 県大会8位入賞以上の実績を有する者 ② 県や地区の代表選手に選ばれた実績を有する者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	硬式野球	男	本校で学業との両立に励み、部活動、学校生活等でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者 ① 県大会ベスト8以上の実績を有する者 ② 県選抜・地区選抜選手に選ばれた実績を有する者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	ボクシング	男女	本校で学業との両立に励み、部活動、学校生活等でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者 ① 本校または県ボクシング連盟が主催する体験会や教室に参加し、本校ボクシング部で3年間取り組む意志を有する者 ② ボクシングなど打撃系闘技の活動経験があり、本校ボクシング部で3年間取り組む意志を有する者
	美術	男女	本校で学業との両立に励み、部活動、学校生活等でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者 ① 美術に関する能力・適性が特に優れている者 ② 県内外の絵画やポスターコンクール等で入賞経験のある者 ③ 志望する動機・理由が明白かつ適切である者
羽水	ボクシング	男女	本校で学業との両立に励み、部活動でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者 ① 本校または県ボクシング連盟主催のボクシング体験に参加し、本校ボクシング部で3年間取り組む意志がある者 ② 体力に自信があり、本校ボクシング部で3年間取り組む意志がある者
	ハンドボール	男	本校で学業との両立に励み、部活動でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者 ① 全国大会・北信越大会に出場または県大会でベスト4以上の実績を有する者 ② ①と同等の能力を有する者
	なぎなた	女	本校で学業との両立に励み、部活動でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者 ① 本校、県なぎなた連盟または全日本なぎなた連盟主催のなぎなた体験や大会に参加した経験があり、本校なぎなた部で3年間取り組む意志がある者 ② 体力に自信があり、本校なぎなた部で3年間取り組む意志がある者
	バレーボール	男	本校で学業との両立に励み、部活動でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者 ① 中学生県選抜または地区選抜に選ばれた者、または県大会でベスト8以上の実績を有し中心選手として活躍した者 ② ①と同等の能力を有する者
	吹奏楽	男女	本校で学業との両立に励み、部活動でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者 ① コンクールやコンテストで県大会金賞以上の実績を取めた団体の中心メンバー（部長、副部长、パートリーダー等）として活躍した者 ② ①と同等の能力を有する者
	生徒会・ボランティア活動等	男女	中学校在学時に、次のいずれかに該当する者で、本校入学後もそれらの活動を継続する意志のある者、またはそれらの活動の経験を活かした学校生活を送る意志のある者 ① 生徒会活動において、会長、副会長等として活躍した実績を有する者 ② ボランティア活動等において継続的に活動し、中心的メンバーとして活躍した実績を有する者
	探究	男女	次のすべてに該当する者 ア よりよい社会を実現するために、探究活動に積極的に取り組む意志がある者 イ 高い基礎学力を有し、進路志望の実現に向けて主体的に学び続ける意志がある者
金津	カヌー	男女	本校で学業との両立に励み、部活動でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者 ① 本校または県カヌー協会主催のカヌー体験に参加し、本校カヌー部でスプリント競技に3年間取り組む意志がある者 ② 体力に自信があり、本校カヌー部でスプリント競技に3年間取り組む意志がある者
	ソフトテニス	男	本校で学業との両立に励み、部活動でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者 ① 団体または個人で、全国大会・北信越大会に出場または県大会でベスト8以上の実績を有する者 ② 全国大会の県選抜選手に選ばれた者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	硬式野球	男	本校で学業との両立に励み、部活動でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者 ① 全国大会・北信越大会に出場または県大会でベスト4以上の実績を有する者 ② 県選抜・地区選抜選手に選ばれ、大会に出場の実績を有する者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	サッカー	男	本校で学業との両立に励み、部活動でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者 ① 全国大会・北信越大会に出場、または県大会でベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者 ② 県選抜・地区選抜選手に選ばれた者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	吹奏楽	男女	本校で学業との両立に励み、部活動でリーダーとしての活躍が期待でき、かつ次のいずれかに該当する者 ① 県大会以上のコンクール・コンテスト（団体または個人）で優れた成績を取めた実績を有する者 ② ①と同等の能力を有する者
	理数探究	男女	次のすべてに該当する者 ア 本校で学業に励み、目標の実現に向けて主体的に学び続ける意思がある者 イ 自ら課題を設定し、他者と協働して解決の筋道を考える探究学習に主体的に取り組む意志がある者 ウ 次のいずれかに該当する者 ① 理科、数学、情報等の分野におけるコンテストやコンクール・校外活動への参加・入賞、資格取得等の実績がある者 ② 理科、数学、情報等の分野への興味関心が高い者
高志	探究	男女	次のすべてに該当する者 ア 高い学力を有し、進路目標の実現に向けて主体的に学び続ける意欲がある者 イ 自ら課題を設定し、他者と協働して、科学的な新事実を発見したり社会問題の解決策を考えたりすることに主体的に取り組む意欲がある者 ウ 次のいずれかに該当する者 ① 理数・情報の学習について高い意欲や突出した能力を有し、理数・情報分野の探究活動に主体的に取り組み、理数・情報分野の大会やコンテスト等の参加実績を有する者 ② 英語等の学習について高い意欲や突出した能力を有し、実用英語技能検定2級以上の資格またはCEFR B1程度以上の公式スコアを有する者で、高校入学後、海外留学や海外大学進学等を視野に入れ、グローバルな活動をしたいと考えている者

学校名	種目・領域	男女	資 格 要 件
丸岡	地域貢献・国際交流	男女	小・中学校在学時に、地域活動（ボランティア活動含む）や国際交流活動等において継続的に活動（団体活動においては中心的メンバーとして活躍）した実績を有し、本校入学後も地域との探究的な協働活動等を継続して行う意志のある者
	サッカー	男	次のいずれかに該当する者 ① 県内大会（地区大会を含む）でベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者 ② 県選抜・地区選抜選手に選ばれた者 ③ ①または②と同等の能力を有する者および、有するに相応しい競技力を持つと判断する者
	新体操	女	次のいずれかに該当する者 ① 団体または個人で、全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者 ② 団体または個人で、県内大会（地区大会を含む）でベスト4以上の実績を有する者 ③ ①または②と同等の能力を有する者および、有するに相応しい競技力を持つと判断する者
	剣道	男女	次のいずれかに該当する者 ① 団体または個人で、全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者 ② 団体または個人で、県内大会（地区大会を含む）でベスト4以上の実績を有する者 ③ ①または②と同等の能力を有する者および、有するに相応しい競技力を持つと判断する者
	地域みらい留学	男女	福井県外の中学校に在籍する者で、当該学科を志望する動機や理由が明確で適切であり、本校入学後は地域活動（ボランティア活動を含む）や探究活動に積極的に取り組み、それらの活動や経験を活かした学校生活を送る意思のある者
三国	セーリング	男女	本校で学業との両立に励み、学校生活等でリーダーとしての活躍ができ、かつ次のいずれかに該当する者 ① 中学3年時の新体力テストで総合評価がA段階の者 ② 中学校の運動部や県選抜チーム等で県大会上位の実績を有する者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	ソフトボール	女	本校で学業との両立に励み、学校生活等でリーダーとしての活躍ができ、かつ次のいずれかに該当する者 ① 全国大会・北信越大会に出場の実績を有し、中心選手として活躍した者 ② 県大会ベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	硬式野球	男	本校で学業との両立に励み、学校生活等でリーダーとしての活躍ができ、かつ次のいずれかに該当する者 ① 県大会ベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者 ② ①と同等の能力を有する者
	陸上競技	男女	本校で学業との両立に励み、学校生活等でリーダーとしての活躍ができ、かつ次のいずれかに該当する者 ① 個人種目で県中学生ランキング10位以上の実績を有し、地域の陸上クラブまたは中学校の陸上部の活動に継続的に取り組み、活動の中心となってリーダーシップを発揮した者 ② ①と同等の能力を有する者
	吹奏楽	男女	本校で学業との両立に励み、学校生活等でリーダーとしての活躍ができ、かつ次のいずれかに該当する者 ① 県大会以上のコンクールやコンテストで優れた成績を収めた実績を有する者 ② ①と同等の能力を有する者
	地域探究	男女	本校で学業との両立に励み、学校生活等でリーダーとしての活躍ができ、かつ次のいずれかに該当する者 ① 地域や社会の問題解決に関する活動を行い、その成果を発信（コンクールで発表、審査会に応募、各種発表会でのプレゼンテーション等）した経験を有する者 ② 自主的にテーマを定めた探究活動を、継続的に取り組んだ経験を有する者 ③ 地域の行事や伝統文化、ジュニアリーダー等の活動に継続的に参加している者
大野	スキー 〔アルペン〕	男女	次のいずれかに該当する者 ① 全国大会・中部日本大会に出場の実績を有する者 ② 県大会でベスト8以上の実績を有する者 ③ アルペンスキーに関する能力・適性があり、志望する動機・理由が明白かつ適切である者
	バレーボール	男	次のいずれかに該当する者 ① 県大会・地区大会で選手として活躍した者 ② バレーボールに関する能力・適性があり、志望する動機・理由が明白かつ適切である者
	卓球	男女	次のいずれかに該当する者 ① 県大会・地区大会で選手として活躍した者 ② 卓球に関する能力・適性があり、志望する動機・理由が明白かつ適切である者
	硬式野球	男	次のいずれかに該当する者 ① 県大会以上の大会に出場の実績を有し、中心選手として活躍した者 ② 野球に関する能力・適性があり、志望する動機・理由が明白かつ適切である者
	サッカー	男	次のいずれかに該当する者 ① 県大会・地区大会で選手として活躍した者 ② サッカーに関する能力・適性があり、志望する動機・理由が明白かつ適切である者
	科学探究 (人文・社会・自然)	男女	次のすべてに該当する者 ア 本校入学後、D－Kompasに基づく探究活動に意欲的に取り組む意思がある者 イ 自ら課題を設定し、その解決に向けて継続的に探究を続け、得られた成果を発信することで、社会に貢献しようとする意思がある者
	生徒会・ ボランティア等社会活動	男女	中学在学時に、以下のいずれかに該当する者で、本校入学後もそれらの活動を継続して取り組む意思がある者 ① 生徒会活動で活躍した実績を有する者 ② 各種ボランティア活動または地域行事に自主的かつ継続的に参加している者
勝山	バドミントン	男女	本校を志望する動機・理由が明白かつ適切である者で、次のいずれかに該当する者 ① 団体または個人で、全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者 ② 団体または個人で、県大会でベスト8以上の実績を有する者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	スキー 〔クロスカントリー〕	男女	本校を志望する動機・理由が明白かつ適切である者で、次のいずれかに該当する者 ① スキー競技に関する能力・適性が優れている者 ② その他の競技で能力・適性が優れている者
	日本文化	男女	本校を志望する動機・理由が明白かつ適切である者で、次のいずれかに該当する者 ① 打楽器に関する能力・適性が優れている者 ② 和太鼓コンクール等で個人または団体として優れた実績を有する者
	ジオサイエンス	男女	本校を志望する動機・理由が明白かつ適切である者で、次のいずれかに該当する者 ① サイエンスに関する能力・適性が優れている者 ② サイエンスに関する活動等に積極的に取り組んだ経験を有し、本校入学後も継続する意志がある者

学校名	種目・領域	男女	資 格 要 件
鯖江	生徒会活動・ボランティア等社会活動	男女	中学在学時に、以下のいずれかに該当する者で、本校入学後もそれらの活動を継続して取り組む意志がある者 ① 生徒会活動において、生徒会長や副会長として活躍した実績を有する者 ② 各種ボランティア活動において、自主的かつ継続的に活動し、中心的メンバーとして活躍した実績を有する者 ③ 伝統文化・地域行事、ジュニアリーダー等の活動において、継続的に活躍した実績を有する者
	なぎなた	女	次のいずれかに該当する者 ① 団体または個人で、なぎなた連盟の主催する大会に参加した経験のある者 ② なぎなた競技に高い関心を持ち、本校なぎなた部で高校3年間取り組み意志がある者
	陸上競技 〔駅伝を除く〕	男女	次のいずれかに該当する者 ① 短距離種目・障害種目または跳躍種目において、全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者 ② 短距離種目・障害種目または跳躍種目において、県大会でベスト8以上の実績を有する者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	バレーボール	男	次のいずれかに該当する者 ① 全国大会・北信越大会に出場の実績を有し、中心選手として活躍した者 ② 県大会でベスト8以上の実績を有し、中心選手として活躍した者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	アーチェリー	男女	次のすべてに該当する者 ア アーチェリーに関する能力・適性が特に優れている者 イ 志望する動機・理由が明白かつ適切である者
	硬式野球	男	次のいずれかに該当する者 ① 全国大会、北信越大会に出場の実績を有し、中心選手として活躍した者 ② ①と同等の能力を有する者
	吹奏楽	男女	次のいずれかに該当する者 ① コンクールやコンテストで県大会金賞以上の成績を収めた団体の中心メンバー（パートリーダー等）として活躍した者 ② ソロコンテストで①と同様の成績を収めた者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	情報	男女	次のすべてに該当する者 ア 情報系の検定試験や、コンテストの参加経験があり、それに向けて意欲的に取り組んだ者、または、プログラミングやアプリ開発、画像や動画編集などデザインに関するIT技術に関心の高い者 イ 本校入学後、情報産業を支える知識・技術のスペシャリストを目指して意欲的に取り組む者
武生	探究	男女	次のすべてに該当する者 ア 高い学力を有し、将来の夢に向かって主体的に学び続ける意欲がある者 イ 自ら課題を設定し、他者と協働して、よりよい社会の実現のために探究しようとする意欲を持つ者 ウ 中学校3年間で、理数や英語の分野における、大会・コンテスト・校内の発表会等への出場や資格・検定の取得に向けて、積極的に挑戦し成果を得た者
武生東	地域探究	男女	中学校在学時に、次のいずれかに該当する者で、本校入学後、率先して諸活動に取り組む意思がある者 ① 地域や社会の問題解決に関する考えを発信（コンクールで発表、審査会に応募等）し、入賞等の実績を持つ者 ② 自主的にテーマを定めた探究活動を継続的に実施している者 ③ 各種ボランティア活動に自主的（学校単位の活動は除く）かつ継続的に参加している者 ④ ボーイスカウト、ガールスカウト、ジュニアリーダー等の青少年育成団体に所属し、継続的な活動をしている者 ⑤ 伝統文化・行事に係る活動を継続的に実施している者 ⑥ 生徒会執行部または部活動の部長として、顕著なリーダーシップを発揮した者
	理数探究	男女	中学校在学時に、次のいずれかに該当する者で、理科・数学に対する興味・関心が強く、医学・薬学・理学・工学・農学等の分野における社会貢献の意欲をもっている者 ① 長期休業中等に、理数に関する研究を積極的行った者 ② 理数系コンテスト等に自主的に参加した者 ③ 数学検定3級以上の資格を有している者
	国際探究	男女	C E F R の A 2 レベル以上の資格を有し、異文化理解や国際交流に関心を持ち、英語を用いて自らの考えを発信しようとする意志を持つ者
丹生	ホッケー	男女	次のいずれかに該当する者 ① 全国大会・北信越大会に出場の実績を有し、中心選手として活躍した者 ② ①と同等の能力を有する者
	硬式野球	男	次のいずれかに該当する者 ① 全国大会・北信越大会出場または県大会でベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者 ② ①と同等の能力を有する者
敦賀	陸上競技	男女	次のいずれかに該当する者 ① 全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者 ② 県大会でベスト4以上の実績を有する者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	剣道	男女	次のいずれかに該当する者 ① 団体または個人で、全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者 ② 県大会で団体ベスト4以上または個人ベスト8以上の実績を有する者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	ソフトテニス	男	次のいずれかに該当する者 ① 団体または個人で、全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者 ② 団体または個人で、県大会でベスト4以上の実績を有する者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	卓球	男女	次のいずれかに該当する者 ① 団体または個人で、全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者 ② 県大会で団体ベスト4以上または個人ベスト8以上の実績を有する者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	柔道	男女	次のいずれかに該当する者 ① 団体または個人で、全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者 ② 団体または個人で、県大会でベスト4以上の実績を有する者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	硬式野球	男	次のいずれかに該当する者 ① 全国大会・北信越大会に出場の実績を有し、中心選手として活躍した者 ② 県大会でベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	吹奏楽	男女	次のいずれかに該当する者 ① コンクールやコンテストで県大会金賞以上の成績を収めた団体の中心メンバー（パートリーダー等）として活躍した者 ② ソロコンテストで①と同様の成績を収めた者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	ビジネス・IT探究	男女	次のいずれかに該当する者 ① 観光などの商業活動において地域と連携し、地域の活性化に貢献する意志のある者 ② 情報処理やプログラミングを学び、ITのスペシャリストとして情報社会に貢献する意志のある者
	探究	男女	次のすべてに該当する者 ア 高い学力を有し、諦めることなく主体的に探究する意思のある者 イ 課題を設定し、他者と協働してその解決に向け創造し、それを発信することで、社会に変革をもたらそうとする志を持つ者

学校名	種目・領域	男女	資 格 要 件
美方	ボート	男女	次のいずれかに該当する者 ① 運動部で県大会に出場の実績を有する者 ② ①と同等の能力を有する者
	剣道	男女	次のいずれかに該当する者 ① 団体または個人で、全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者 ② 団体または個人で、県大会でベスト8以上の実績を有する者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	陸上競技 〔駅伝〕	男女	次のいずれかに該当する者 ① 県大会に出場以上の実績を有する者 ② ①と同等の能力を有する者
	硬式野球	男	次のいずれかに該当する者 ① 全国大会・北信越大会に出場の実績を有し、中心選手として活躍した者 ② 県大会でベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	吹奏楽	男女	次のいずれかに該当する者 ① 楽器の演奏に関する技術や能力が優れており、志望する動機・理由が明白かつ適切である者 ② 中学校の吹奏楽部の活動において中心的メンバーまたはリーダーとして活躍した者
	地域探究	男女	次のすべてに該当する者 ア 地域の課題解決に、他者と連携・協働し積極的に取り組む意思のある者 イ 地域の課題解決に関して、積極的に情報発信する意思のある者
若狭	ボート	男女	次のいずれかに該当する者で、3年間粘り強く取り組むことができる者 ① 運動部で県大会に出場の実績を有する者 ② その他の競技で能力・適性がすぐれている者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	硬式野球	男	次のいずれかに該当する者 ① 県大会出場以上の実績を有し、中心選手として活躍した者 ② ①と同等の能力を有する者
	探究	男女	次のすべてに該当する者 ア 高い学力を有し、目標実現に向けて主体的に学び続ける意志がある者 イ 自ら課題を設定し、他者と協働して解決策を考え、より良い社会を実現する志を持つ者
	地域みらい留学	男女	次のすべてに該当する者 ア 高い学力を有し、各学科の特色に応じて主体的に学び続ける意志がある者 イ 自ら課題を設定し、他者と協働して解決策を考え、より良い社会を実現する志を持つ者 ウ 福井県外の中学校に在籍する者であり、本校所在地である小浜市を中心として嶺南地区で探究活動を行う志を持つ者
福井農林	レスリング	男	次のいずれかに該当する者 ① レスリング競技の経験が3年以上の者 ② 中学校で3年間レスリング競技に類する運動部に所属していた者 ③ 運動部で全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者 ④ 運動部で県大会でベスト8以上の実績を有する者
	相撲	男	次のいずれかに該当する者 ① 個人で全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者 ② 個人で県大会でベスト4以上の実績を有する者 ③ ①または②と同等の能力を有する者で、志望する動機・理由が明白かつ適切である者
	バレーボール	男	次のいずれかに該当する者 ① 全国大会・北信越大会または県大会にレギュラーとして出場の実績を有する者 ② 小学生県選抜または中学生県選抜もしくは地区選抜選手に選ばれた者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	硬式野球	男	次のいずれかに該当する者 ① 県大会ベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者 ② 野球に関する能力・適性が優れており、志望する動機・理由が明白かつ適切である者
	郷土芸能	男女	次のいずれかに該当する者 ① 県大会以上の和太鼓コンクールで個人または団体として優れた成績を取めた実績を有する者 ② ①と同等の能力を有する者 ③ 打楽器に関する能力・適性が優れており、志望する動機・理由が明白かつ適切である者
科学技術	自転車	男女	自転車競技に興味があり、次のいずれかに該当する者 ① 自転車競技の経験がある者 ② 運動部の県大会で上位入賞の実績がある者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	ライフル射撃	男女	ライフル射撃競技に興味があり、法令順守の意識が高く、かつ次のいずれかに該当する者 ① ライフル射撃協会等で活動経験がある者 ② 運動部の県大会で上位入賞の実績がある者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	新体操	男	新体操競技に興味があり、次のいずれかに該当する者 ① 新体操競技、体操競技、トランポリン競技の経験がある者 ② 体を使って表現することが得意で、ダンス等の経験がある者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	硬式野球	男	硬式野球に興味があり、次のいずれかに該当する者 ① 硬式野球競技、軟式野球競技の経験がある者 ② 運動部の県大会で上位入賞の実績を有する者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	サッカー	男	サッカー競技に興味があり、次のいずれかに該当する者 ① 県大会に出場し、中心選手として活躍した者 ② 運動部の県大会で上位入賞の実績を有する者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	創造ものづくり	男女	ものづくりに興味があり、次のいずれかに該当する者 ① 創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会福井県大会などロボット製作の技術を競い合う大会に出場した者 ② 福井県創造ものづくり教育フェアにおいて作品コンクール部門またはアイデアバックコンクール部門に出品した実績がある者 ③ WRO (World Robot Olympiad) 等の大会に出場した者 ④ 特定の分野でのものづくりの実績があり、ものづくりを通して地域に貢献しようという意欲のある者

学校名	種目・領域	男女	資 格 要 件
敦賀工業	ボート	男女	次のすべてに該当する者 ア 中学3年時の新体力テストにおいて総合評価B段階以上の者、またはボート競技に関する高い身体適性を持つ者 イ 志望する動機・理由が明白かつ適切である者
	硬式野球	男	次のいずれかに該当する者 ① 地区大会等で優勝または準優勝の実績を有し、中心選手として活躍した者 ② ①と同等の能力を有し、チームリーダーとして本校での活躍が期待できる者
	吹奏楽	男女	次のいずれかに該当する者 ① 楽器の演奏に関する技術や能力が優れており、志望する動機・理由が明白かつ適切である者 ② 本校吹奏楽部で3年間熱心に取り組む意志がある者
	ものづくり	男女	次のいずれかに該当する者 ① 工業技術を活かして地域と連携し、地域の活性化に貢献する意欲のある者 ② よりよい生活の実現に向けて、技術を工夫し創造しようという意欲のある者
福井商業	ハンドボール	女	次のいずれかに該当する者 ① 全国大会・北信越大会に出場または県大会でベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者 ② 全国大会の県選抜選手に選ばれた者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	卓球	男女	次のいずれかに該当する者 ① 団体または個人で、全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者 ② 県大会で団体ベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者 ③ 県大会で個人ベスト8以上の実績を有する者 ④ ①から③のいずれかと同等の能力を有する者
	バレーボール	女	次のいずれかに該当する者 ① 全国大会・北信越大会に出場または県大会でベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者 ② 全国大会の県選抜選手に選ばれた者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	バスケットボール	男女	次のいずれかに該当する者 ① 全国大会・北信越大会に出場または県大会でベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者 ② 全国大会の県選抜選手に選ばれた者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	ソフトテニス	女	次のいずれかに該当する者 ① 団体または個人で、全国大会・北信越大会に出場の実績を有する者 ② 県大会で団体ベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者 ③ 県大会で個人ベスト16以上の実績を有する者 ④ ①から③のいずれかと同等の能力を有する者
	ソフトボール	女	次のいずれかに該当する者 ① 全国大会・北信越大会に出場または県大会でベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者 ② 全国大会の県選抜選手に選ばれた者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	サッカー	男	次のいずれかに該当する者 ① 全国大会・北信越大会に出場または県大会でベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者 ② 全国大会の県選抜選手に選ばれた者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	硬式野球	男	次のいずれかに該当する者 ① 全国大会・北信越大会に出場または県大会でベスト4以上の実績を有し、中心選手として活躍した者 ② 全国大会の県選抜選手に選ばれた者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
坂井	吹奏楽	男女	本校で学業との両立に励み、3年間継続する意思がある者で、次のいずれかに該当する者 ① 県大会以上のコンクールやコンテストで優れた成績を収めた実績を有する者 ② ①と同等の能力を有する者
	ウエイトリフティング	男女	本校で学業との両立に励み、3年間継続する意思がある者で、次のいずれかに該当する者 ① 本校または県ウエイトリフティング連盟主催の体験に参加した実績を有する者 ② 体力に自信があるもの
	自転車	男女	本校で学業との両立に励み、3年間継続する意思がある者で、次のいずれかに該当する者 ① 自転車競技の経験がある者 ② 運動部で県大会出場以上の実績を有する者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	硬式野球	男	本校で学業との両立に励み、3年間継続する意思がある者で、次のいずれかに該当する者 ① 県大会・地区大会で上位入賞の実績を有し、中心選手として活躍した者 ② 県選抜・地区選抜選手に選ばれた者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	バスケットボール	男	本校で学業との両立に励み、3年間継続する意思がある者で、次のいずれかに該当する者 ① 県大会出場の実績を有する者 ② 県選抜・地区選抜選手に選ばれた者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	サッカー	男	本校で学業との両立に励み、3年間継続する意思がある者で、次のいずれかに該当する者 ① 県大会出場の実績を有する者 ② 県選抜・地区選抜選手に選ばれた者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
坂井	バレーボール	男女	本校で学業との両立に励み、3年間継続する意思がある者で、次のいずれかに該当する者 ① 全国大会・北信越大会または県大会にレギュラーとして出場の実績を有する者 ② 小学生県選抜・中学生県選抜または地区選抜選手に選ばれた者 ③ ①または②と同等の能力を有する者

学校名	種目・領域	男女	資 格 要 件
奥越明成	硬式野球	男	次のすべてに該当する者 ア 野球に関する能力・適性が特に優れている者 イ 志望する動機・理由が明白でかつ高い意欲を有する者
	ビジネス地域貢献	男女	次のすべてに該当する者 ア 観光やマーケティングなどの商業活動において、地域と連携し、意欲的に活動する意思のある者 イ 地域貢献を考え、地域活性化の取り組みや地域PRのための情報発信に意欲的に取り組む意思のある者 ウ 意欲的に商業に関する知識や技術を身に付け、地域連携活動でリーダーの役割を担う意思のある者
武生商工	ボクシング	男女	次のいずれかに該当する者 ① 学校や連盟が主催する体験教室や練習会に参加した経験を有する者 ② 志望する動機・理由が明白かつ適切であり、本校ボクシング部で3年間熱心に取り組む意志がある者
	フェンシング	男女	次のいずれかに該当する者 ① 体力テストの総合評価でAを有する者 ② 学校または協会が主催する体験会に参加した者 ③ 3年間フェンシング競技に熱心に取り組む意志がある者
	硬式野球	男	次のいずれかに該当する者 ① 地区大会等で優勝または準優勝の実績を有し、中心選手として活躍した者 ② ①と同等の能力を有する者
	バレーボール	男女	次のいずれかに該当する者 ① 県大会に出場し、中心選手として活躍した者 ② 県選抜・地区選抜選手に選ばれた者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	バドミントン	女	次のいずれかに該当する者 ① 県大会に出場し、中心選手として活躍した者 ② 県選抜・地区選抜選手に選ばれた者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	サッカー	男	次のいずれかに該当する者 ① 県大会に出場し、中心選手として活躍した者 ② 県選抜・地区選抜に選ばれた者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	バスケットボール	女	次のいずれかに該当する者 ① 県大会に出場し、中心選手として活躍した者 ② 県選抜・地区選抜に選ばれた者 ③ ①または②と同等の能力を有する者
	テニス	男女	次のいずれかに該当する者 ① ソフトテニスまたは硬式テニスの大会への出場経験がある者 ② 学校または協会が主催する体験会に参加した者
	吹奏楽	男女	次のいずれかに該当する者 ① 楽器の演奏に関する能力・適性が優れており、コンクールやコンテストで県大会金賞以上の実績を有する者 ② ①と同等の能力を有する者
	エンジニアスキル	男女	次のいずれかに該当する者 ① 創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会福井県大会などロボット製作の技術を競い合う大会に出場した者 ② 福井県創造ものづくり教育フェアにおいて作品コンクール部門またはアイデアバック部門に出品した実績がある者 ③ 技術・家庭科の授業を通して、プログラミングやデザインを含む「ものづくり」に興味・関心があり、そのスキルを高めたい意欲がある者
	ビジネススキル	男女	次のいずれかに該当する者 ① タブレット等の情報機器を利用した店舗経営や商品開発に強い関心のある者 ② アプリ開発や画像・動画編集などのIT技術に強い関心のある者 ③ 珠算・暗算等の経験を、競技会や学習活動で活かす意欲のある者
若狭東	ボート	男女	次のすべてに該当する者 ア ボート競技に関する能力・適性が優れている者 イ 志望する動機・理由が明白かつ適切である者
	ウエイトリフティング	男女	次のすべてに該当する者 ア ウエイトリフティング競技に関する能力・適性が優れている者 イ 志望する動機・理由が明白かつ適切である者
	ラグビーフットボール	男	次のすべてに該当する者 ア ラグビーフットボール競技に関する能力・適性が優れている者 イ 志望する動機・理由が明白かつ適切である者
	レスリング	男	次のすべてに該当する者 ア レスリング競技に関する能力・適性が優れている者 イ 志望する動機・理由が明白かつ適切である者

(注) 1 資格要件における実績は、原則として当該種目・領域における実績とする。

2 地区大会、地区選抜の「地区」は、県内の各地区を表す。

2 出 願

(1) 出願できる学校および学科

- ア 出願は、特色選抜の対象となる学科を有する県立高校の対象学科のうち1学科に限る。ただし、コース、専攻を設置する学科においては、それぞれのコース（専攻を設置するものは除く。）、専攻を1学科とみなす。なお、推薦入学者選抜および外国人生徒等特別選抜との併願は認めない。
- イ アにかかわらず、普通、農業、工業、商業および家庭に関する大学科内の学科・コース・専攻を志願する者は、同一校・同一大学科内の学科・コース・専攻に限り、第3志望まで出願することができる。

(2) 出願期間

- ア 出願の受付期間は、令和7年1月7日（火）から1月9日（木）とする。
- イ 受付時間は、午前9時から午後4時までとする。

(3) 出願手続

ア 志願者の行う手続

- (ア) 特色選抜志願者は、WEB出願システムにより、志願情報を入力し、中学校長の証明を得ること。また、必要事項を記入した特色選抜志願理由書（様式第3号）および探究的な取組みに係る事前課題（志願先の高校が提出を求めている者のみ）を、中学校長に提出すること。
- (イ) 特色選抜志願者は、入学審査料として2,200円をクレジットカードによるオンライン決済、コンビニエンスストア支払いのいずれかで払込むこと。なお、志願者の事情により受験しなかった場合、納入された入学審査料の返還は行わない。
- (ウ) 他の都道府県から志願する者は、令和6年11月20日（水）から令和6年12月24日（火）までに、「県を越えて出願する場合の取扱い」の例により手続しなければならない。

イ 中学校長の行う手続

中学校長は、WEB出願システムにより、特色選抜志願者の志願情報に誤りがないことおよび入学審査料が払込まれていることを確認した上で証明し、志願情報および次の書類を、出願先の県立高校長に提出する。

- (ア) 福井県立高等学校入学志願者調査書（様式第1号）
- (イ) 特色選抜志願理由書（様式第3号）
- (ウ) 探究的な取組みに係る事前課題（志願先の高校が提出を求めている者のみ）
- また、障がいや病気の状況等により受験上の配慮を必要とする志願者については、受験上の配慮申請書（様式第7号）を県立高校長に提出する。

(4) 県立高校長の処理

- ア 県立高校長は、志願情報および特色選抜に係る書類の提出を受けた場合において、記載事項について適正であると認めたときは、これを受理する。
- イ 県立高校長は、令和7年1月10日（金）午後5時までに、全出願者について受験番号を付して、WEB出願システムにより、特色選抜受験票を交付する。
- ウ 受験上の配慮申請書の提出を受けた県立高校長は、障がいや病気の状況等により受験上の配慮を必要とする場合、教育委員会と協議の上、対応について検討する。

3 出願者数の発表

教育委員会は、出願の受付期間中の毎日およびその終了後、各県立高校の課程・学科別の出願者数を発表する。なお、県立高校長は、電話等による出願者数の照会には、応じないものとする。

4 学力検査等の実施

(1) 選抜は、選抜方法Aと選抜方法Bにより実施する。

選抜方法Aは、国語・英語・数学の3教科の学力検査、適性検査、探究的な取組みに係る事前課題のうち、出願先の高校が指定したものにより実施し、必要に応じ、面接、口頭試問、プレゼンテーション等を取り入れることができる。

選抜方法Bは、面接および国語・英語・数学の3教科の学力検査により実施し、必要に応じ、実技試験等を取り入れることができる。

(2) 面接、口頭試問、プレゼンテーション、学力検査、適性検査、実技試験等は、出願先の県立高校において、令和7年1月15日（水）に行う。

(3) 学力検査、適性検査、探究的な取組みに係る事前課題、面接、口頭試問、プレゼンテーション、実技試験等を実施する学校および学科は、次のとおりとする。

選抜方法A

学校名	学科	種目・領域名	学力検査等			面接、口頭試問、プレゼンテーション等				備考（面：面接時間 準：実技試験等の準備物 ※）
			学力検査 (国数英)	適性検査	事前課題	面接	集団 /個人	口頭 試問	プレゼン テーション	
羽水	探究特進	探究	○			○	個人			面：1人あたり10分程度
金津	普通	理数探究	○			○	個人	○		面：1人あたり7分程度 口頭試問の概要：1人あたり10分程度 教科書に準じた内容から基礎的な知識を問う問題と思考力を問う問題を出題し、それに対する解答と質疑応答
高志	探究創造	探究		○	○			○		適性検査の概要 ・与えられた文章等を読み、自分の考えを論理的にまとめ、表現する。 時間は30分 字数は400字以内 事前課題の概要：「高志様式 事前課題（1）または（2）」 次の（1）（2）のいずれか一つ （1）資格要件ウの①に該当する者 ・「探究活動報告書」（高志様式 事前課題（1）） 中学校時代に行った理数・情報分野の探究的取組みについて、その目的や内容、今後の課題等をまとめる。章立て等は自由とする。なお、「内容」については、「探究活動報告書」とは別に、大会やコンテスト等に提出したものの写しを「探究活動報告書」とは別に添付してもよい。 （2）資格要件ウの②に該当する者 ・「英語に関する報告書」（高志様式 事前課題（2）） 中学校時代の「英語学習への取組み」、「（授業以外での）英語を使った活動」「国際交流体験」、および高校入学後の「海外留学や海外大学進学等を視野に入れたグローバルな活動・抱負」について、英語で記載する。章立て等は自由とする。（中学校での「国際交流体験」については、特になければ、記載しなくてもよい。） （3）備考 ・資格要件のウについて、①②の両方に該当する者は、現在考えている高校以降の進路希望を考慮の上、（1）（2）のどちらか一つを提出すること。 口頭試問の概要：1人あたり30分程度（個人での口頭試問） ・提出書類（特色選抜志願理由書、事前課題）の内容に関する質疑応答等 ・事前課題で「探究活動報告書」を提出した者は、理科および数学の内容の質疑応答等 ・事前課題で「英語に関する報告書」を提出した者は、英語での質疑応答等
三国	普通	地域探究	○		○			○		事前課題の概要：中学校で取り組んだ探究的な活動に関する内容等をA4用紙1枚にまとめ、事前に提出 口頭試問の概要：1人あたり10分程度 事前課題に関する質疑応答
大野	普通	科学探究 (人文・社会・自然)	○	○		○	個人			適性検査の概要：人文社会系的な内容と自然科学系的な内容を出題。 与えられた資料（図表・文章等）を読み取り、それに関する論述 時間は45分、字数は600字程度 面：1人あたり15分程度 適性検査の内容についての質疑応答を含む。

学校名	学科	種目・領域名	学力検査等			面接、口頭試問、プレゼンテーション等				備考（面：面接時間 準：実技試験等の準備物 ※）
			学力検査 (国数英)	適性検査	事前課題	面接	集団/個人	口頭試問	プレゼンテーション	
武生	探究進学	探究		○					○	適性検査の概要 (人文社会系) 中学校における国語、社会、英語の範囲から出題 時間は 60 分 (自然科学系) 中学校における数学、理科の範囲から出題 時間は 60 分 プレゼンテーションの概要： 課題提示後、各自でプレゼンテーションの内容を検討し、ポスター作成等を行った上で、プレゼンテーションを行う。（25 分程度）
武生東	学際フロンティア	地域探究	○			○	個人		○	面：1 人あたり 15 分程度 プレゼンテーションの概要： 特色選抜志願理由書の内容について、プレゼンテーションを行う（3 分程度）。その後、質疑応答を行う。
		理数探究	○			○	個人		○	面：1 人あたり 15 分程度 プレゼンテーションの概要： 特色選抜志願理由書の内容について、プレゼンテーションを行う（3 分程度）。その後、質疑応答を行う。
		国際探究	○			○	個人			面：1 人あたり 15 分程度、英語での面接
敦賀	文理進学	探究	○			○	個人		○	面：1 人あたり 8 分程度 プレゼンテーションの概要： 自己 P R、中学校で行った具体的な探究活動（部活動・学習以外）や、入学後に取り組みたい具体的探究活動について等プレゼンテーションを行う（2 分程度）。その後、質疑応答を行う（6 分程度）。タブレット・パソコン等や紙ベースの資料の持ち込みは不可。
	商業情報経理	ビジネス・IT 探究	○			○	個人		○	面：1 人あたり 8 分程度 プレゼンテーションの概要： 自己 P R、中学校で行った具体的な探究活動（部活動・学習以外）や、入学後に取り組みたい具体的探究活動について等プレゼンテーションを行う（2 分程度）。その後、質疑応答を行う（6 分程度）。タブレット・パソコン等や紙ベースの資料の持ち込みは不可。
美方	普通	地域探究	○			○	個人			面：1 人あたり 10 分程度
若狭	文理探究	探究	○	○		○	集団			適性検査の概要： 主に社会・理科の知識をもとに思考力を問う問題（記述式） 時間は 60 分 面：1 グループ 4～5 人で 20 分程度
		地域みらい留学	○	○		○	個人			適性検査の概要： 主に社会・理科の知識をもとに思考力を問う問題（記述式） 時間は 60 分 面：1 人あたり 10 分程度

※事前課題の詳細については、各学校のホームページにて確認すること。

選抜方法 B

学校名	学科	種目・領域	面接、実技試験等				備考（面：面接時間 準：実技試験等の準備物 ）
			面接	口頭 試問	プレゼン テーション	実技 試験	
			集団/個人				
足羽	普通	バスケットボール ライフル射撃 バドミントン 陸上競技 硬式野球 ボクシング 美術	個人				面：1人あたり8分程度
羽水	普通	ボクシング ハンドボール なぎなた バレーボール 吹奏楽 生徒会・ボランティア活動等	個人			○※4	面：（ボクシング、ハンドボール、なぎなた、バレーボール）1人あたり10分程度 （吹奏楽、生徒会・ボランティア活動等）1人あたり15分程度 準：（運動系種目）体操服、シューズ（内）（バレーボールは競技用シューズ）、タオル
金津	普通	カヌー ソフトテニス 硬式野球 サッカー 吹奏楽	個人			○	面：1人あたり7分程度 準：（カヌー）運動のできる服装、シューズ（内） （ソフトテニス）運動のできる服装、シューズ（内）、ラケット （硬式野球）運動のできる服装、シューズ（内）、グローブ （サッカー）運動のできる服装、シューズ（内） （吹奏楽）楽器 ※コントラバスは弓のみ ※打楽器はスティックまたはマレットのみ
丸岡	普通	サッカー 剣道 新体操 地域貢献・国際交流 地域みらい留学	個人		○※1	○※4	面：1人あたり10分程度 準：（サッカー）サッカーのできる服装、シューズ（内） （剣道）剣道着、剣道防具一式、トレパン、トレシャツ シューズ（内） （新体操）新体操のできる服装、個人種目の手具 個人種目の曲（音源の入ったCD） プレゼンテーションの概要： A3用紙5枚以内の資料（手書き・パワーポイントいずれでもよい）をもとに、自分の活動実績とそれをふまえて入学後に挑戦したいことについて、プレゼンテーションを行い（10分程度）、その後質疑応答（5分程度）

学校名	学科	種目・領域	面接、実技試験等				備考（面：面接時間　準：実技試験等の準備物　）
			面接	口頭 試問	プレゼン テーション	実技 試験	
			集団/個人				
三国	普通	セーリング ソフトボール 硬式野球 陸上競技 吹奏楽	個人			○	面：１人あたり７～８分程度 準：（運動系種目共通）各中学校の体操服、シューズ（内・外）、お茶等の水分、タオル、着替え、防寒着等（ソフトボール）上記に加え、グローブ（吹奏楽）管楽器…自分が演奏する楽器、楽譜 打楽器…スティック、マレット、楽譜 （打楽器は本校にて用意する。）
大野	普通	スキー〔アルペン〕 バレーボール 卓球 硬式野球 サッカー 生徒会・ボランティア等社会活動	個人				面：１人あたり１０分程度
勝山	普通	バドミントン スキー 〔クロスカントリー〕 日本文化	個人			○	面：１人あたり約１０分程度 準：（バドミントン）体操服、シューズ（内）、ラケット（スキー〔クロスカントリー〕）体操服、シューズ（内）、クラシカル用靴（準備できない場合は要相談） （日本文化）体操服、パチ（準備できない場合は貸与する）
	普通 探究特進	ジオサイエンス	個人				面：１人あたり約１５分程度
鯖江	普通	なぎなた 陸上競技〔駅伝以外〕 バレーボール アーチェリー 硬式野球 吹奏楽 生徒会活動・ボランティア等社会活動 情報	個人			○ ※４	面：１人あたり約１０分程度 準：（なぎなた、陸上競技、バレーボール、硬式野球）体操服、シューズ（内） （アーチェリー）体操服、シューズ（内）、弓具および防具（吹奏楽）準備可能な楽器
丹生	普通	ホッケー 硬式野球	個人			○	面：１人あたり１５分程度 準：各実技に必要なウェア、シューズ（内）
敦賀	普通 商業 情報経理	陸上競技 剣道 ソフトテニス 卓球 柔道 硬式野球 吹奏楽	個人				面：１人あたり６分程度
美方	普通	ボート 剣道 陸上競技〔駅伝〕 硬式野球 吹奏楽	個人				面：１人あたり１０分程度
若狭	普通	硬式野球 ボート 地域みらい留学	個人			○ ※４	面：１人あたり１０分程度 準：（硬式野球、ボート）運動のできる服装、シューズ（内）
	海洋科学	地域みらい留学					
福井農林	全	レスリング 相撲 バレーボール 硬式野球 郷土芸能	集団			○	面：１グループ５名までで１５分程度 準：（レスリング）体操服、タオル（相撲）夏用体操服（半袖・短パン）、タオル（バレーボール）体操服または練習用ユニフォーム、シューズ（内） （硬式野球）体操服または練習用ユニフォーム、シューズ（内） グローブ （郷土芸能）体操服、シューズ（内） ばち、足袋（持っている人は準備）
科学技術	全	自転車 ライフル射撃 新体操 硬式野球 サッカー 創造ものづくり	個人			○ ※２	面：１人あたり１５分程度 プレゼンテーションの概要： （創造ものづくり） 製作品等を持参し、その特徴や今後の改善点などについてプレゼンテーションを行う。その後、質疑応答を行う。 準：（創造ものづくり）製作品等
敦賀工業	全	ボート 硬式野球 吹奏楽 ものづくり	個人				面：１人あたり１５分程度

学校名	学科	種目・領域	面接、実技試験等				備考（面：面接時間 準：実技試験等の準備物 ）
			面接	口頭 試問	プレゼン テーション	実技 試験	
			集団/個人				
福井商業	全	ハンドボール 卓球 バレーボール バスケットボール ソフトテニス ソフトボール サッカー 硬式野球 吹奏楽	個人				面：１人あたり１０分程度
坂井	全	ウェイトリフティング 自転車 硬式野球 バスケットボール サッカー バレーボール	個人				面：１人あたり１０分程度
奥越明成	全	硬式野球 ビジネス地域貢献	個人				面：１人あたり１０分～２０分
武生商工	全	ボクシング フェンシング 硬式野球 バレーボール バドミントン サッカー バスケットボール テニス 吹奏楽 エンジニアスキル ビジネススキル	個人		○ ※３	○ ※５	面：１人あたり１０分程度 準：（運動系種目共通）運動ができる服装、シューズ（内）、タオル、防寒具 （硬式野球）グローブ （バドミントン）ラケット （エンジニアスキル）製作品 （ビジネススキル）プレゼンに関する原稿、補足するための資料 必要に応じてタブレット、パソコン等 プレゼンテーションの概要： （エンジニアスキル） 持参した製作物の特長などに関するプレゼンテーションと簡単な質疑 応答 （ビジネススキル） タブレット、パソコン、スマートフォン等を用いた文書作成、画像・ 動画編集やアプリ開発、珠算・暗算の取り組みに関するプレゼンテー ションと簡単な質疑応答
若狭東	全	ボート ウェイトリフティング ラグビーフットボール レスリング	個人				面：１人あたり１０分程度

※1 「地域みらい留学」の種目・領域のみ実施

※2 「創造ものづくり」の種目・領域のみ実施

※3 「エンジニアスキル」、「ビジネススキル」の種目・領域のみ実施

※4 実技試験は「備考」に準備物が記載されている種目・領域のみ実施

※5 「エンジニアスキル」、「ビジネススキル」の種目・領域を除く。

5 受験に関する事前説明

- (1) 選抜方法Bにより、面接、プレゼンテーション、学力検査、実技試験等を実施する学校および学科を志願する者および保護者は、志願先の高校が指定した会場において、志願する種目・領域や学校生活等について、高校から事前に説明を受けることができる。
- (2) 事前説明期間は、令和6年11月11日（月）から令和6年12月13日（金）までの間とする。事前説明を希望する者は、中学校長を通じて志願先の県立高校長に申し出ること。中学校長は、令和6年12月6日（金）までに、特色選抜受験に関する事前説明希望者名簿（様式自由）を志願先の県立校長に提出すること。

6 入学者の選抜

- (1) 県立高校長は、出願者から提出された志願理由書、4(3)で実施した学力検査、適性検査、探究的な取組みに係る事前課題、面接、口頭試問、プレゼンテーション、実技試験等の成績、中学校長から提出された調査書を資料として、各高等学校、各学科等の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を判定した上で、入学者を選抜する。

- (2) 選抜に当たっては、調査書中の「学習の記録」の「評定」の第3学年の各教科の評定と志願理由書、4(3)で実施した学力検査、適性検査、探究的な取組みに係る事前課題、面接、口頭試問、プレゼンテーション、実技試験等の結果を総合的に審査する。

なお、調査書中の「観点別学習状況」および他の記録についても、これを慎重に審査する。ただし、「身体上の特記事項」については、修学不可能と認められるものを除くほかは、等差をつける資料としない。

- (3) 選抜に当たっては、第2志望等の理由により等差をつけることはしない。
- (4) 県立高校長は、具体的な実施方法、主な設問等を記入した特色選抜実施計画書を、教育委員会に届け出るものとする。
- (5) 面接においては、細部にわたる教科の内容や家庭環境等について触れてはならない。
- (6) 県立高校長は、選抜の結果、教育委員会と協議して、募集人員を超えて合格させること、または募集人員内にとどめることができる。

7 合格者への通知

県立高校長は、令和7年1月20日（月）午後2時以降に、合格した旨を中学校長を通じ、本人に通知するものとする。ただし、合格者の発表は、令和7年3月3日（月）午後2時以降にWEB出願システム上に受験番号を掲載する。また、WEB出願システムの合格者発表ページへのリンクを各高校のホームページに掲載する。

8 選抜に漏れた者の取扱い

- (1) 選抜に漏れた者が一般入学者選抜を受験する場合には、改めて出願し直すこと。
- (2) 特色選抜の種目・領域「地域みらい留学」の選抜に漏れた者が、一般入学者選抜を受験する場合には、令和7年1月21日（火）から令和7年1月30日（木）までに、「県を越えて出願する場合の取扱い」の例により手続すること。

第4 外国人生徒等特別選抜

1 募 集

(1) 実施校・実施学科・募集人員

実施校・実施学科・募集人員は、次のとおりとする。

学校名	学科名		募集人員
足羽	多文化共生	日本語コース	20名程度
武生商工	機械創造		3名程度
	商業マネジメント		

(2) 応募資格

外国人生徒等特別選抜を志願できる者は、志願する学科に対する興味・関心を有し、意欲的に学校生活を送る意志をもつ者で、次のいずれかに該当する者とする。

- ア 令和7年3月に中学校を卒業する見込みの者で、中学校長が、日本語指導の必要な生徒として認定する者であること。
- イ 中学校を卒業した者で、志願する高校の校長が、日本語指導の必要な生徒として認定する者であること。
- ウ 学校教育法施行規則第95条の規定により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、志願する高校の校長が、日本語指導の必要な生徒として認定する者であること。

※日本語指導の必要な生徒

日本語による簡単な日常会話はできるが、学習活動への参加に支援が必要である者

2 受験に関する事前説明（1(2)イ中学校を卒業した者または1(2)ウ学校教育法施行規則第95条の規定により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のみ）

- (1) 外国人生徒等特別選抜を志願する者および保護者は、志願先の高校において、入学後の学校生活等について、事前に説明を受けること。ただし、志願者が成人の場合、父母等の同伴は不要とする。
なお、事前説明は、複数の高校で受けることができるものとする。
- (2) 事前説明期間は、令和6年11月20日（水）から令和6年12月24日（火）までの間とする。事前説明に当たっては、前もって当該校に連絡して来校日を決定し、受験に関する事前説明申請書（外国人生徒等特別選抜）（様式第5号）に必要事項を記入し、志願先の高校に持参すること。
- (3) 志願先の県立高校長は、志願者が持参する受験に関する事前説明申請書（外国人生徒等特別選抜）を受理し、応募資格を確認の上、入学後の学校生活等について説明し、受験に関する事前説明実施証明書（外国人生徒等特別選抜）を発行する。
- (4) やむを得ない事情により、(2)の期間内に、志願先の高校において事前説明を受けられない者は、受験に関する事前説明免除申請書（外国人生徒等特別選抜）（様式第6号）を提出すること。

3 出 願

(1) 出願できる学校および学科

出願は、外国人生徒等特別選抜の対象となる学科を有する県立高校の対象学科のうち1学科に限る。ただし、コースを設置する学科においては、それぞれのコースを1学科とみなす。なお、推薦入学者選抜および特色選抜との併願は認めない。

(2) 出願期間

- ア 出願の受付期間は、令和7年1月7日（火）から1月9日（木）とする。
- イ 受付時間は、午前9時から午後4時までとする。

(3) 出願手続

ア 志願者の行う手続

- (ア) 外国人生徒等特別選抜志願者は、WEB出願システムにより、志願情報を入力し、中学校長の証明を得ること。また、入学審査料として、2,200円をクレジットカードによるオンライン決済、コンビニエンスストア支払いのいずれかで払込むこと。志願者の事情により受験しなかった場合、納入された入学審査料の返還は行わない。

- (イ) 1(2)イまたはウに該当する志願者は、受験に関する事前説明実施証明書（外国人生徒等特別選抜）（様式5号）をWEB出願システムにより、出願先の県立高校長に提出すること。

ただし、やむを得ない事情により、2(2)の期間内に、志願先の高校において事前説明を受けられなかった者は、受験に関する事前説明免除申請書（外国人生徒等特別選抜）（様式6号）を、福井県教育委員会に提出すること。

- (ウ) 他の都道府県から志願する者は、令和6年11月20日（水）から令和6年12月24日（火）までに、「県を越えて出願する場合の取扱い」の例により手続しなければならない。

イ 中学校長の行う手続

中学校長は、WEB出願システムにより、外国人生徒等特別選抜志願者の志願情報に誤りがないことおよび入学審査料が払込まれていることを確認した上で証明し、志願情報および次の書類を、出願先の県立高校長に提出する。

- (ア) 福井県立高等学校入学志願者調査書（様式第1号）
- (イ) 外国人生徒等特別選抜受験認定書（様式第4号）・・・1(2)アに該当する志願者のみ
- (ウ) 受験に関する事前説明実施証明書（外国人生徒等特別選抜）（様式第5号）

・・・1(2)イまたはウに該当する志願者

ただし、(ウ)の代わりに、受験に関する事前説明免除申請書（外国人生徒等特別選抜）（様式第6号）を提出する場合は、福井県教育委員会に提出する。

また、障がいや病気の状況等により受験上の配慮を必要とする志願者については、受験上の配慮申請書（様式第7号）を県立高校長に提出する。

(4) 県立高校長の処理

- ア 県立高校長は、志願情報および外国人生徒等特別選抜に係る提出書類を受け付けた場合において、記載事項について適正であると認めたときは、これを受理する。

- イ 県立高校長は、令和7年1月10日（金）午後5時までに、全出願者について受験番号を付して、WEB出願システムにより、外国人生徒等特別選抜受験票を交付する。

- ウ 受験上の配慮申請書の提出を受けた県立高校長は、障がいや病気の状況等により受験上の配慮を必要とする場合、教育委員会と協議の上、対応について検討する。

4 出願者数の発表

教育委員会は、出願の受付期間中の毎日およびその終了後、各県立高校の課程・学科別の出願者数

を発表する。なお、県立高校長は、電話等による出願者数の照会には、応じないものとする。

5 学力検査等の実施

- (1) 選抜は調査書、面接および英語・数学の2教科の学力検査により実施する。
- (2) 面接、学力検査は、出願先の県立高校において、令和7年1月15日（水）に行う。
- (3) 面接を実施する学校および学科は、次のとおりとする。

学校名	学科	面接	備考（面：面接時間 準：実技等の準備物）
		集団/個人	
足羽	多文化共生	個人	面：1人あたり15分程度
武生商工	機械創造	個人	面：1人あたり10分程度
	商業マネジメント		

- (4) 外国人生徒等特別選抜志願者は、本人の申出により、出題文の漢字にルビを振った学力検査とすることができる。申出は、令和7年1月9日（木）の午後4時までとする。

6 入学者の選抜

- (1) 県立高校長は、中学校長から提出された調査書その他必要な書類、面接、学力検査の成績を資料として、各高等学校、各学科等の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を判定した上で、入学者を選抜する。
- (2) 選抜に当たっては、調査書中の「学習の記録」の「評定」の第3学年の各教科の評定と面接、学力検査の成績等を総合的に審査する。
なお、調査書中の「観点別学習状況」および他の記録についても、これを慎重に審査する。ただし、「身体上の特記事項」については、修学不可能と認められるものを除くほかは、等差をつける資料としない。
- (3) 県立高校長は、具体的な実施方法、主な設問等を記入した外国人生徒等特別選抜実施計画書を、教育委員会に届け出るものとする。
- (4) 面接においては、細部にわたる教科の内容や家庭環境等について触れてはならない。
- (5) 県立高校長は、選抜の結果、教育委員会と協議して、募集人員を超えて合格させること、または募集人員内にとどめることができる。

7 合格者への通知

県立高校長は、令和7年1月20日（月）午後2時以降に、合格した旨を中学校長を通じ、本人に通知するものとする。ただし、合格者の発表は、令和7年3月3日（月）午後2時以降にWEB出願システム上に受験番号を掲載する。また、WEB出願システムの合格者発表ページへのリンクを各高校のホームページに掲載する。

8 選抜に漏れた者の取扱い

選抜に漏れた者が一般入学者選抜を受験する場合には、改めて出願し直すこと。

第5 第2次募集

全日制の課程および定時制の課程で、一般入学者選抜の合格者が一般入学者選抜の募集人員に満たない学科を有する県立高校においては、当該学科で第2次募集を行う。第2次募集を行う場合には、教育委員会および県立高校長は、その実施に係る事項を令和7年3月3日（月）に発表する。ただし、既に令和7年度福井県立高等学校入学者選抜全日制の課程、定時制の課程および特別支援学校の高等部に合格した者は、第2次募集に出願することはできない。

1 出願

出願の受付期間は、令和7年3月4日（火）および3月5日（水）の両日とする。

なお、3月4日（火）は午前9時から午後4時まで、3月5日（水）は午前9時から正午までとする。

2 受験に関する事前説明（定時制の課程のみ）

次に掲げる事項を除き、一般入学者選抜の例による。

- (1) 志願する者および保護者（やむを得ず保護者が来校することができない場合は、志願する者および中学校の担当者）は、志願先の高校において、入学後の学校生活等について、事前に説明を受けること。ただし、一般入学者選抜の出願前に、志願先の高校において事前説明を受けている場合は、改めて事前説明を受ける必要はない。
- (2) 事前説明期間は、令和7年3月4日（火）および3月5日（水）の両日とする。
なお、3月4日（火）は午前9時から午後4時まで、3月5日（水）は午前9時から正午までとする。

3 出願手続

次に掲げる事項を除き、一般入学者選抜の例による。

- (1) 入学審査料は、1,500円とする。クレジットカードによるオンライン決済、コンビニエンスストア支払いのいずれかで払込むこと。なお、志願者の事情により受験しなかった場合、納入された入学審査料の返還は行わない。
- (2) 第2次募集において初めて他の都道府県から県立高校全日制の課程に出願する者は、令和7年2月18日（火）から3月3日（月）正午までに「県を越えて出願する場合の取扱い」の例により手続しなければならない。
- (3) 定時制の課程に出願する者で、一般入学者選抜において、志願先の高校の定時制の課程に出願している場合は、出願時にその旨を申し出ること。
- (4) 県立高校長は、志願情報等の提出を受けた場合、令和7年3月5日（水）午後5時までに、全出願者について受験番号を付して、WEB出願システムにより受験票を交付する。

4 出願者数の発表

教育委員会は、出願の受付期間中の毎日およびその終了後、各県立高校の課程・学科別の出願者数

を発表する。なお、県立高校長は、電話等による出願者数の照会には、応じないものとする。

5 学力検査等の実施

- (1) 出願者は、全員、出願先の各県立高校で実施する学力検査等を受けなければならない。
- (2) 第2次募集に係る学力検査等は、国語・英語・数学の3教科の学力検査および面接とし、必要に応じ、作文を課することができる。
- (3) 県立高校長は、具体的な実施方法および面接等に係る主な設問等を記入した実施計画書を教育委員会に届け出るものとする。
- (4) 第2次募集に係る学力検査等は、令和7年3月7日（金）に実施する。

6 選抜の方法

- (1) 県立高校長は、中学校長から提出された調査書その他必要な書類、学力検査の成績等を資料として、各高校・学科等の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を判定した上で、入学者を選抜する。
- (2) 選抜に当たっては、調査書中の「学習の記録」の「評定」の第3学年の各教科の評定と学力検査の成績を総合的に審査する。なお、調査書中の「観点別学習状況」および他の記録についても、これを慎重に審査する。ただし、「身体上の特記事項」については、修学不可能と認められるものを除くほかは、等差をつける資料としない。
- (3) 県立高校長は、調査書その他必要な書類、学力検査の成績等による判定の結果、入学が適当と認められる者の数が募集人員に満たない場合には、教育委員会と協議の上、合格者数を募集人員内にとどめることができる。
- (4) 県立高校長は、募集人員を超えて合格者を決定する場合には、教育委員会と協議しなければならない。

7 合格者の発表

当該県立高校長は、令和7年3月10日（月）午後2時以降に、合格者の受験番号をWEB出願システム上に掲載し、中学校長を通じ本人に通知するものとする。また、WEB出願システムの合格者発表ページへのリンクを各高校のホームページに掲載する。

第6 その他

- 1 県立高校長は、志願情報、調査書その他出願に必要な書類に不正な記載があった場合には、志願者の入学を取り消すことができる。
- 2 県立高校長は、志願者の取扱いその他選抜に係る事項で、この要項によりがたい特別な事情がある場合には、教育委員会と協議の上、決定するものとする。